

令和4年度 大阪府立豊中支援学校 第1回 学校運営協議会記録

- 1、日時：令和4年6月15日（水）10：30－11：35
- 2、場所：本校調理室
- 3、構成：＜ 委員 ＞ 5名
 ＜事務局＞ 校長、教頭2名、事務長、首席3名
 ＜ 傍聴 ＞ 2名
- 4、内容

10:30	第1回協議会次第説明 校長挨拶 協議会委員・事務局の紹介	(事務局) (校長)
10:45	報告及び協議、質疑応答 ・令和4年度学校経営計画及び学校評価 ・豊中支援学校ランドデザイン ・令和4年度 キャリア教育全体計画 ・通学バス連絡フォーム、位置情報サービスの運用開始について ・令和3年度進路状況（資料配付）	(委員長) (校長) (校長) (首席) (首席)
11:30	事務連絡	(事務局)

●上記のとおり、報告等を行い、各委員より次のような意見をいただいた。

令和4年度 学校経営計画及び学校評価、ランドデザインについて

- ・ICT利活用については地域の学校においても様々に課題がある。実践交流会を楽しみにしている。

キャリア教育について

- ・本校のキャリア教育6観点において、①コミュニケーション力がその他の観点とも関連する重要な力であると考えている。目に見えない力の育成にどのように働きかけているのか。コミュニケーション研修を開催するなどして先生方の知識や実践力を高めてほしい。
- ・めざす卒業生像にも掲げている“自ら選択”という自発的な表出を促してほしい。授業以外の場面でも視覚支援（各教室のシンボルマークなど）を取り入れて、校内のユニバーサル化を進めてほしい。PTAとして協力できることがあれば担いたい。カリキュラムのシステムづくりも希望している。
- ・生徒会活動において、キャリアの観点を意識した活動が展開されることも良いのではないかと。

学校生活全般について

- ・卒業生の保護者にとって、卒業後の進路選択は『通過点』であると感じている。コロナ渦における実習、進路決定は大変さがあることも理解できる。卒業生にとってより良い選択になるよう願っている。
- ・様々な実習背景も理解でき、卒業後（就職）の定着に向けて協力できることを今後も務めたい。
- ・本協議会は児童生徒一人ひとりの学びをより良く発展させるための応援団である。年間テーマにもある児童生徒の「やってみたい！」という気持ちや、支援学校ならではの特色を伸ばしてほしい。

5、今後の予定

- 第2回 令和4年9月22日（木）10：30－11：30
 第3回 令和5年2月10日（金）10：30－11：30